

手取川水系の概要

● 河川状況

手取川はその源を名峰白山（標高2,702m）に発し、尾添川、大日川その他の支川を合流して、白山市鶴来に至り、これより山間部を離れ石川県の誇る穀倉地帯である加賀平野を西流し、白山市湊町地先にて日本海に注ぐ流域面積809km²、幹川流路延長72kmの一級河川である。

手取川流域は、上、中流域の山地部と下流域の平野部に大別される。白山市木滑新地先の尾添川との合流点から、白山市鶴来大國町付近までの中流域には、河岸段丘の下に河床を侵食してきた高さ約30mの断崖の渓谷（手取渓谷）が続いており、美しい景観を形成している。

手取川の上流部は河口から約34kmの白山市木滑新地先にて、牛首川流域（手取川本川）と尾添川流域に大別され、これより上流の444km²が直轄砂防区域である。

